

みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」授業実践報告書

学校・実施クラス名：多賀城市立天真小学校5年1組

日時：平成26年 5月28日(水) 3校時

授業者職・氏名：主幹教諭 千葉 浩一

- 1 教科名 総合的な学習の時間  
 2 単元名 地震はいつ起こるか分からない(副読本P10)  
 3 本時の指導

- (1) 本時の指導目標 地震は、いつどこで起こるか分からないことを知る。また、地震が起こっても慌てないで行動することの大切さが分かる。  
 (2) 本時の評価規準 ①地震はいつどこで起こるか分からないことが理解できたか。  
 ②地震が起きた時に慌てないで行動することの大切さが分かったか。  
 (発言・ワークシートの記入の様子)

(3) 指導過程

時間	学習活動	指導上の留意点 他	<input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 準備物
導入 8分	1 自分たちがこれまで体験した大きな地震について話し合う。 <input type="checkbox"/> 全体での活動	◇最近、また地震が起きていることなどを想起させる。 ◇身近な状況を取り上げることにより、自分たちの問題であるという意識を高めさせる。 ◇意見を自由に発表させていく。どの意見も認めながら発言しやすい雰囲気を作っていく。 ◇必要に応じて、教師の体験談なども話す。	
展開 3分	2 これまで日本で起こった大きな地震は、いつ、どこで、起こっているかを調べる。 <input type="checkbox"/> 個での活動	◇4つの大きな地震について調べさせる。 ◇4枚のイラストを活用し、地震がどこで何をしている時に起こっているかも調べさせる。 ◇「地震が起こった場所」の日本地図から、それぞれの地震が起きた場所を知らせ、地震は全国で起きていることに気付かせる。	<input checked="" type="checkbox"/> みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」 <input checked="" type="checkbox"/> ワークシート <input type="checkbox"/> ①地震はいつどこで起こるか分からないことが理解できたか。 <input type="checkbox"/> ②地震が起きた時に慌てないで行動することの大切さが分かったか。
3分	3 宮城県では昔から何度も地震の被害を受けていることを調べる。 <input type="checkbox"/> 個での活動	◇巻末の「宮城県の自然災害年表(P.59)」から、宮城県では昔から何度も地震の被害を受けていることを調べさせる。 ◇「岩手・宮城内陸地震」の写真や説明から内陸部でも大きな地震が起きることに気付かせる。	
	4 地震が起きたときに大切なことはどのようなことかを話し合う。 <input type="checkbox"/> 班→全体での活動	◇地震が起きた時は、慌てないで冷静に行動することが大切なことに気付かせ、普段からどのようなことをしておく必要があるか考えさせる。 ◇学校で行う避難訓練に真剣に取り組むことが大切であることに気付かせる。	
まとめ 5分	5 学習のまとめをする。 (6 避難経路を確認する。)	◇本日の学習で「分かったこと」「気付いたこと」「思ったこと」を発表させる。  (◇経路を確認し、ショートの実演を試みる。)	<input type="checkbox"/> ②

- (4) 準備物 教師：みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」 ワークシート  
 児童：筆記用具

4 授業者の感想：「やって良かったこと」「困ったこと」

- ・導入の段階で3. 11の学校付近の様子がわかる写真や映像などがあると思った。
- ・避難訓練の導入として扱ったが、その後の避難訓練時での児童の真剣な取組からもやって良かったと感じた。